

# 接触確認アプリ ～プライバシーへの配慮と接触の通知の仕組み～

- 接触確認アプリは、本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができます。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

### 〈プライバシーに最大限配慮〉

厚生労働省

厚生労働省 ※仕様は開示する

利用に同意

アプリをインストールして利用

- ・ 電話番号、位置情報など個人が特定される情報は記録しない
- ・ どこで、いつ、誰と近接したか、互いにわからない
- ・ 近接に関する情報（ランダムな符号）は端末内のみで保持し、14日経過後に自動で無効となる
- ・ 利用の同意はいつでも撤回し、アプリを削除して、記録を消去できる

### 〈ブルートゥースによる接触の検知〉

- ・ ブルートゥースにより、1メートル以内、合算15分以上接触した可能性を検知
- ・ ブルートゥースをオフにすると記録しない
- ・ 消費電力の少ないブルートゥースを使用

### 〈陽性者との接触の可能性を通知、検査の受診などを案内〉

国・自治体では、個人情報や陽性者と接触者の関係はわからない

厚生労働省

通知サーバー

PCR陽性

①陽性者の把握、健康観察等（処理番号を送付）

②処理番号と日次鍵を送信し、陽性登録（※）

③陽性者からの通知である旨を処理番号で照会

④処理番号の確認結果を回答

⑤陽性者の日次鍵を元に近接した可能性を通知。帰国者・接触者外来等の受診までをアプリまたはコールセンターで案内

⑥案内された帰国者・接触者外来等に予約、受診

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）

保健所

※処理番号：陽性者本人が新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムに登録した携帯電話又はメールアドレスに送付される、陽性者である旨の確認のための番号  
日次鍵：各端末で毎日生成されるランダムな符号で、陽性登録がなされると、これを元に接触の可能性のある利用者に通知

- ・ PCR陽性でない方が登録しないよう、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムから処理番号を本人に発行し、本人がアプリで入力する。
- ・ 通知を受けた方には、医療機関等の受診までを、アプリまたはコールセンターで案内する。
- ・ 通知を受けた方が検査を受ける場合、検査に係る本人の費用負担は発生しない。